

前立腺がん発生に対する脂肪酸摂取と PPAR- γ 遺伝子多型との交互作用の研究	安藤 亮介	泌尿器科	¥1,000,000	補 財団法人聖ルカ・ライフサイエンス研究所委
過活動膀胱における SCF-Kit シグナル伝達系の機能解析と遺伝子多型解析	窪田 泰江	泌尿器科	¥500,000	補 日本泌尿器科学会委
ゲノム解析・プロテオーム解析からみた前立腺肥大症に対するオーダーメイド医療の可能性	小島 祥敬	泌尿器科	¥500,000	補 財団法人前立腺研究財団委委
糖代謝が精子形成に与える影響について	水野 健太郎	泌尿器科	¥500,000	補 財団法人愛知健康増進財団医学研究委
前立腺がん発生に対する脂肪酸摂取と脂肪代謝に関わる遺伝子多型との交差作用の研究	安藤 亮介	泌尿器科	¥300,000	補 (財)名古屋公衆医学研究所委
前立腺癌のホルモン耐性獲得におけるチェックポイント機構 Chk1 リン酸化の関与	橋本 良博	泌尿器科	¥250,000	補 がんその他の悪性新生物研究助成金委
外因性内分泌攪乱化学物質(環境ホルモン)の男子性腺および生殖器に与える影響と課題	小島 祥敬	泌尿器科	¥1,000,000	補 名古屋市立大学委
愛知県尿路結石疫学調査：発生率と治療の地域性からみた治療の選択方法と再発予防法の確立と啓蒙	安井 孝周	泌尿器科	¥700,000	補 名古屋市立大学委
シュミレーションを取り入れたリスクマネジメント教育の研究	戸澤 啓一	泌尿器科	¥500,000	補 名古屋市立大学委
停留精巣組織で特異的発現をする遺伝子群の精巣分化・発生における役割	水野 健太郎	泌尿器科	¥500,000	補 名古屋市立大学病院委
厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「精神科領域における臨床研究推進のための基盤作りに関する研究」	古川 壽亮	精神科	¥5,000,000	補 厚生労働省委
厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「精神療法の実施方法と有効性に関する研究」	古川 壽亮	精神科	¥3,000,000	補 厚生労働省委

厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 17 指-5「気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究」	古川 壽亮	精神科	¥1,000,000	補 厚生労働省委
厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 18 指-7「統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究」	古川 壽亮	精神科	¥430,000	補 厚生労働省委
文部科学省科学研究費補助金(萌芽研究)「治療抵抗性うつ病に対する認知行動分析システム精神療法とその品質管理体制の開発研究」	古川 壽亮	精神科	¥900,000	補 厚生労働省委
がん患者に対するリエゾンの介入や認知行動療法的アプローチ等の精神医学的な介入の有用性に関する研究	明智 龍男	精神科	¥15,550,000	補 厚生労働省委
がん患者の精神症状に対する心理社会的介入法の開発	明智 龍男	精神科	¥1,000,000	補 厚生労働省委
せん妄の早期発見、早期治療のための医療スタッフ向け教育プログラムの開発	明智 龍男	精神科	¥800,000	補 文部科学省委
進行がん患者のせん妄に関する病態解明と、精神科リエゾンの介入を中心とする早期発見・早期治療パッケージの開発	奥山 徹	精神科	¥1,000,000	補 厚生労働省委
放射線照射患者を対象とした遺伝子多型解析による有害事象予測に関する研究	芝本 雄太	放射線科	¥1,050,000	補 独立行政法人放射線医学総合研究所委
水チャンネルアキュアポリンを標的とした新しい脳浮腫治療法の開発	祖父江 和哉	麻酔科	¥2,470,000	補 日本学術振興会委
血管内皮前駆細胞移植による脳毛細血管再生と遺伝子治療への応用	竹内 明憲	麻酔科	¥600,000	補 文部科学省委
RNAi を用いた軽度低温の脳浮腫抑制効果に果たす水チャンネル機能の解析	藤田 義人	麻酔科	¥1,690,000	補 日本学術振興会委
ニューロカインによる抹消侵害受容機構の修飾	杉浦 健之	麻酔科	¥2,600,000	補 日本学術振興会委

新しい脳水分測定法の開発と基礎的応用-水チャネルに着目した新脳浮腫治療法の開発	平手 博之	麻酔科	¥1,300,000	補 文部科学省委
アガツトスコアを基準とした頸動脈プラークの網羅的遺伝子解析	片野 広之	脳神経外科	¥910,000	補 文部科学省委
髄液漏出診断における簡便な検出法の検討	西尾 実	脳神経外科	¥1,430,000	補 文部科学省委
高次脳機能障害者に対する地域支援ネットワークの構築に関する研究	山田 和雄	脳神経外科	¥1,400,000	補 厚生労働省委
脳脊髄減少症の診断・治療の確立に関する研究	西尾 実	脳神経外科	¥1,000,000	補 厚生労働省委
無症候性頸動脈狭窄症に対する治療方針の確立に関する研究	山田 和雄	脳神経外科	¥25,040,000	補 厚生労働省委
舌の痛みに関する臨床的研究	鶴見 邦夫	歯科口腔外科	¥300,000	補 名古屋市立大学【学術研究奨励事業助成】委
顎顔面・口腔領域における東洋医学的診断・治療の有用性に関する研究	横井 基夫	歯科口腔外科	¥300,000	補 東洋医学研究財【第30回研究一般助成】委
シュエグレン症候群に伴う口腔乾燥症状に関する研究	佐藤 文彦	歯科口腔外科	¥300,000	補 名古屋市立大学【学術研究奨励事業助成】委
テーラーメイド治療を目指した肝炎ウイルスデータベース構築に関する研究	溝上 雅史	中央臨床検査部(臨床分子情報医学)	¥7,330,000	補 厚生労働省委
アフリカにおける肝炎ウイルスの分子疫学的・分子生物学的検討	溝上 雅史	中央臨床検査部(臨床分子情報医学)	¥2,500,000	補 日本学術振興会委
主にアジアに蔓延するウイルス性肝疾患の制御に資する為の日米合作的且つ学術的肝炎ウイルス研究	溝上 雅史	中央臨床検査部(臨床分子情報医学)	¥2,000,000	補 厚生労働省委
C型肝炎ウイルス等の母子感染に関する研究	溝上 雅史	中央臨床検査部(臨床分子情報医学)	¥1,300,000	補 厚生労働省委

B型肝炎ウイルスコアプロモーター領域の変異と発癌メカニズムの解明	田中 靖人	中央臨床検査部(臨床分子情報医学)	¥1,117,000	⑩補 日本学術振興会委
E型肝炎の感染経路・宿主域・遺伝的多様性・感染防止・診断・治療に関する研究	田中 靖人	中央臨床検査部(臨床分子情報医学)	¥1,000,000	⑩補 厚生労働省委
ジェノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規	田中 靖人	中央臨床検査部(臨床分子情報医学)	¥3,000,000	⑩補 厚生労働省委
肝炎ウイルスの培養系を用いた新規肝炎治療法の開発	田中 靖人	中央臨床検査部(臨床分子情報医学)	¥5,000,000	⑩補 厚生労働省委
開発途上国における HIV 罹患状況からみたウイルス性肝炎の実態調査	田中 靖人	中央臨床検査部(臨床分子情報医学)	¥1,000,000	⑩補 国立国際医療センター委

合計 119 件

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Asian Pac J Cancer Prev. 8: 267-71 (発行 2007 年 6 月 日)	Intestinal phenotypes of stomach cancers arising after Helicobacter pylori eradication in carcinogen-treated Mongolian gerbils.	溝下 勤	消化器内科
J Antimicrob Chemother. 60(5):1060-3 (発行 2007 年 11 月 日)	Effect of plaunotol in combination with clarithromycin against clarithromycin-resistant Helicobacter pylori in vitro and in vivo.	佐々木 誠人	消化器内科
J. Clin. Biochem. Nutr. 41:191-196 (発行 2007 年 11 月 日)	A Novel Strategy in Production of Oligosaccharides in Digestive Tract: Prevention of Postprandial Hyperglycemia and Hyperinsulinemia.	佐々木 誠人	消化器内科
J Smooth Muscle Res. 43:179-189 (発行 2007 年 10 月 日)	Improvement of gastric motility by hemodialysis in patients with chronic renal failure.	神谷 武	消化器内科
J Gastroenterol. 42(6):444-9 (発行 2007 年 6 月 日)	Validity of endoscopic classification of nonerosive reflux disease.	城 卓志	消化器内科
J Gastroenterol. 42(8):690-3 (発行 2007 年 8 月 日)	Rebamipide, a gastro-protective and anti-inflammatory drug, promotes gastric ulcer healing following eradication therapy for Helicobacter pylori in a Japanese population: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	城 卓志	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol. 22(6):821-6. (発行 2007 年 6 月 日)	Advantages of endoscopic submucosal dissection over conventional endoscopic mucosal resection.	志村 貴也	消化器内科
Int J Cancer. 121(2):241-7 (発行 2007 年 7 月 日)	Subcellular localization of ATBF1 regulates MUC5AC transcription in gastric cancer.	片岡 洋望	消化器内科
Acta Gastroenterol Belg. 70(4):323-30. (発行 2007 年 11 月 日)	Endoscopic submucosal dissection is useful and safe for intramucosal gastric neoplasms in the elderly.	志村 貴也	消化器内科
Mol cancer Ther (発行 19 年 7 月 日)	The determinants of sensitivity and acquired resistance to gemcitabine differ in non-small cell lung cancer: a role of ABCC5 in gemcitabine sensitivity	小栗 鉄也	呼吸器内科
日本嫌気性菌感染症研究 (発行 19 年 月 日)	Clostridium difficile 関連下痢症の発症要因と臨床像	中村 敦	呼吸器内科

Mol cancer Ther (発行 20 年 1 月 日)	MRP8/ABCC11 directly confers resistance to 5-fluorouracil	小栗 鉄也	呼吸器内科
Cancer Lett (発行 20 年 1 月 日)	The absence of human equilibrative nucleoside transporter 1 expression predicts nonresponse to gemcitabine-containing chemotherapy in non-small cell lung cancer.	小栗 鉄也	呼吸器内科
Cancer Res. (発行 20 年 7 月 1 日)	Lineage-specific dependency of lung adenocarcinomas on the lung development regulator TTF-1	前野 健	呼吸器内科
第 50 回日本糖尿病学会年次学術集会 2007 年 5 月 24 日.	糖尿病患者におけるオルメサルタンの降圧効果と糖および脂質代謝に及ぼす影響.	岡山 直司	内分泌・糖尿病内科
第 50 回日本糖尿病学会年次学術集会 2007 年 5 月 24 日.	高血圧症を合併した 2 型糖尿病患者におけるバルサルタンのアディポサイトカイン及び可溶性 ICAM-1 への影響	今枝 憲郎	内分泌・糖尿病内科
Nagoya City University Graduated School of Medical Sciences, Nagoya, Japan. 67th Annual Meeting & Scientific Sessions of the American Diabetes Association(ADA). June 24, 2007.	Glucagon-like peptide-1 receptors a promising treatment modality for diabetic encephalopathy.	木村 了介	内分泌・糖尿病内科
Leukemia (発行 2007 年 11 月)	Proteome analyses of the growth inhibitory effect of NCH-51, a novel histone deacetylase inhibitor, on lymphoid malignant cells.	三田 貴臣	血液・膠原病内科
Clinical Cancer Research (発行 2007 年 11 月)	Defucosylated anti-CCR4 monoclonal antibody combined with immunomodulatory cytokines: a novel immunotherapy for aggressive/refractory mycosis fungoides and Sezary syndrome.	矢野 寛樹	血液・膠原病内科
European Journal of Hematology (発行 2007 年 9 月)	Low-dose thalidomide plus low-dose dexamethasone therapy in patients with refractory multiple myeloma.	飯田 真介	血液・膠原病内科
International Journal of Cancer (発行 2007 年 5 月)	Regulatory T-cell function of adult T-cell leukemia/lymphoma cells.	矢野 寛樹	血液・膠原病内科

British Journal of Haematology (発行 2008 年 3 月)	Augmentation of antitumor activity of defucosylated chimeric anti-CCR4 monoclonal antibody in SCID mouse model of adult T-cell leukaemia/lymphoma using G-CSF.	矢野 寛樹	血液・膠原病内科
Oncogene (発行 2008 年 1 月)	Pou2AF1, an amplification target at 11q23, promotes growth of multiple myeloma cells by directly regulating expression of a B-cell maturation factor, TNFRSF17.	飯田 真介	血液・膠原病内科
Clinical Lymphoma Myeloma (発行 2007 年 7 月)	T-cell large granular lymphocyte leukemia of donor origin after cord blood transplantation	楠本 茂	血液・膠原病内科
Modern Pathology (発行 2007 年 4 月)	Immunoglobulin VH gene analysis in gastric MALT lymphomas.	上田 龍三	血液・膠原病内科
Modern Pathology (発行 2007 年 6 月)	Prognostic significance of NPM-ALK fusion transcript overexpression in ALK-positive anaplastic large-cell lymphoma	石田 高司	血液・膠原病内科
Cancer Science (発行 2007 年 5 月)	Genetic abnormalities involved in t(12;21) TEL-AML1 acute lymphoblastic leukemia: analysis by means of array-based comparative genomic hybridization.	上田 龍三	血液・膠原病内科
Clin Exp Rheumatol. (発行 2007 年 7 月 日)	Ribosomal P protein P0 as a candidate for the target antigen of anti-endothelial cell antibodies in mixed connective tissue disease.	Naniwa T, Sugiura Y, Banno S, Yoshinouchi T, Matsumoto Y, Ueda R.	血液・膠原病内科
Allergol Int. (発行 2007 年 9 月 日)	Drug-induced hypersensitivity syndrome associated with a marked increase in anti-paramyxovirus antibody titers in a scleroderma patient.	Naniwa T, Maeda S, Sawada H, Watanabe Y, Osawa T, Hayami Y, Banno S, Morita A, Ueda R.	血液・膠原病内科
Gastrointest Endosc 65 (1): 99-108, 2007	Difficulty in diagnosing autoimmune pancreatitis by imaging findings.	中沢 貴宏	肝・膵臓内科